

今年で18年。新シリーズ2年めが始まります。今まで同様ご支援ご愛顧のほど、よろしくお願いいたします。

映画監督・**中江裕司**（「ナビイの恋」「土を喰らう12ヵ月」）**セレクト**

同朋大学・なごやなかむら **エツソウ映画館** シリーズ

4th SEASON



62th

ニューシネマ

台湾新電影時代 ①

フランスのオリビエ・アサイヤス監督が、台湾ニューシネマの旗手侯孝賢(ホウ・シャオシェン)と共に台湾を旅しながら彼の素顔に迫ったドキュメンタリー。侯監督作品の脚本を手がけてきた朱天文ら映画人へのインタビューを交えつつ、作品ゆかりの土地を巡っていく。

悲情城市

恋恋風塵

(1997 オリビエ・アサイヤス監督作品 92分)

HHH:侯孝賢

A Portrait of Hou Hsiao-Hsein

2024/6/8 (土)

14:00開演 (13:30開場/16:20終了予定)

第一部 映画『HHH:侯孝賢』上映 (92分)

第二部 映画解説 **中江裕司** 映画監督 × 聞き手 **福田琢** 同朋大学 (30分)
「侯孝賢監督の映画術」

詳しくは、HP、facebookで

参加費無料。

定員60名。

場所:Doプラザ関蔵ホール



同朋大学

参加申し込み・会員確認

052-411-1207 (事務部 地域連携担当)

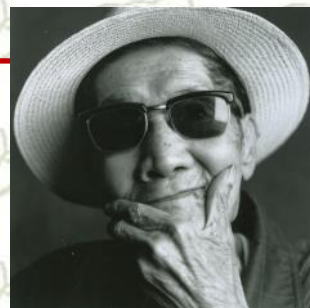
/zadan@doho.ac.jp

企画:同朋大学地域連携センター

協力: **Cinema Sakole** シネマスコアレ



侯孝賢映画の名バイプレイヤー**李天祿**（『戲夢人生』『悲情城市』）の血を受け継ぐ台湾布袋戲(伝統人形劇)「**亦宛然掌中劇団**」が今夏、日本にやってきます。名古屋公演は、**8/1(木)同朋大学Doプラザ関蔵ホール**にて。詳細はSNSで。それを記念して、「**布袋戲ミニ展覧会**」を開催します。(裏面参照) お楽しみに!



台湾文化の真髄に触れる

伝統人形劇

プータイシ

布袋戲ニ三展覽会

2024/6/8(土)~

布袋戲（プータイシ／台湾語でポテヒ）とは、清朝後期に中国大陸より台湾に伝わった、掌で操る伝統的な人形劇。「**掌中戲**」とも言います。

百年近い歴史を有する老舗人形劇団「**亦宛然掌中劇団**」の12年ぶりの来日公演を記念し、同朋大学で展覧会を開催します。

両手を広げたほどの小さな舞台上、人形師（前場）と楽団（後場）が織りなすハーモニーを、パネルとビデオで紹介します。

亦宛然より寄贈された貴重な戯偶（人形）の展示や体験コーナーもあります。皆さんお楽しみに！

設立1931年/台湾最古の布袋戯劇団の一つ

イーワンラン

亦宛然掌中劇団

亦宛然掌中劇団は、中国より伝わった伝統的な人形劇スタイルを継承する、台湾「**布袋戯**」の正統派劇団。

日本統治下の1931年、**李天禄**（初代/1910-98）が創団。台湾北部を拠点とする李天禄は、戦後庶民の文化として花開いた布袋戯ブームの立役者として、南部の**黄海岱**とともに「**北李南黄**」と並び称せられることとなる。

李天禄の死後、劇団を受け継いだ次男**李傳燦**（第二代/1946~2009）は、人形操作（前場）で優れた能力を発揮するとともに、人形制作の面でも亦宛然を支え、現在の劇団の基礎を築いた。

現在は**李傳燦**の妻**李蔡素貞**が団長、その次男**李俊寛**（第三代）が執行長として劇団運営を担当し、李天禄の曾孫（第四代）にあたる**李奕賢**・**張家銘**が人形操作（前場）、**張家碩**が楽器演奏（後場）として一家相伝の技芸を継承している。訪日メンバーには、**陳啓豊**ら才能あふれる若手演者が加わり、伝統布袋戯の現在最高峰のメンバーが集結した。

なお、**李天禄**は、日本では **侯孝賢** 映画の常連としてよく知られている。

決定!!

8/1(木)名古屋公演
同朋大学Doプラザ閣蔵ホール

詳細はSNSで発表します
もうしばらくお待ちください！

前場（人形操作及びセリフ）

後場（楽器演奏）

李傳燦

李天禄

1992映画『戲夢人生』（侯孝賢監督）

李奕賢